



社名の由来である  
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン  
「シャルロット」

株式会社ロッテホールディングス  
2026年4月15日(水)

## 神奈川県愛甲郡愛川町、(一社)厚木歯科医師会、ロッテ 「愛川町民の歯と口の健康づくりの推進に関する連携協定」を締結

株式会社ロッテ(東京都新宿区 代表取締役社長執行役員:中島 英樹 以下 ロッテ)は2026年4月9日(木)に、愛川町(神奈川県愛甲郡愛川町 町長:小野澤 豊)、一般社団法人厚木歯科医師会(神奈川県厚木市 会長:堀 真治、以下厚木歯科医師会)と「愛川町民の歯と口の健康づくりの推進に関する連携協定」を締結いたしました。ロッテの口腔に関する連携協定として25例目になります。

愛川町民の口腔内環境の維持・改善により、健やかで豊かな人生を送れるために三者が連携・協働し、歯と口の健康づくり推進に取り組んでまいります。



2026年4月9日(木)愛川町役場で実施された協定締結式の様子  
(左から)ロッテ 岡本 敏之、愛川町 小野澤 豊町長、厚木歯科医師会 堀 真治会長

### ●本協定の主な内容

1. 歯と口の健康づくりを通じて愛川町が実施する各種事業に関する事。
2. 町民の歯と口の健康づくりの推進に関する事。
3. 「噛むこと」の大切さと正しい知識の普及啓発に関する事。
4. 口腔機能の獲得、維持及び向上のための正しい知識の普及啓発に関する事。
5. 災害時における物資提供等も含めた被災者支援に関する事。
6. その他本目的を達成するために必要な事項に関する事。

\* ロッテは、1948年の創業以来培ってきた「噛むこと」や「キシリトール」などを、様々なツールとして活用することで、愛川町民の歯と口の健康づくりに貢献していきます。

⇒次のページに協定締結式の概要とロッテ 神奈川支店 支店長 岡本 敏之のコメントを掲載しております。



社名の由来である  
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン  
「シャルロッテ」

## ●協定締結式

1. 実施日 2026年4月9日(木)
2. 実施場所 愛川町役場
3. 出席者 愛川町町長 小野澤 豊  
厚木歯科医師会 会長 堀 真治  
ロッテ 神奈川支店 支店長 岡本 敏之

## ●ロッテ 神奈川支店 岡本 敏之コメント

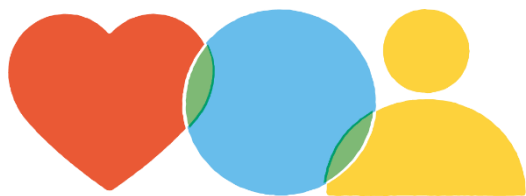
今回、愛川町が目指す「町民みんなが手を携えて、積極的に健康づくりを実践し、共に生きる喜びを分かち合いながら、心豊かな明るい愛川」の実現を図ることを目的に、三者協定を締結しました。オーラルフレイル対策や、成人の方々を対象とした歯と口の健康啓発活動、幼児期の口腔機能の発達や歯の健康維持など、全年齢的な取り組みについて、ロッテ独自の強みや技術を活かし、皆様の健康づくりの推進に貢献したいと考えております。

このたび厚木歯科医師会様からのお声掛けで、歯科医師会が管轄している愛川町をご紹介いただき、連携協定を締結する運びとなりました。

当社のサステナビリティ目標「[ロッテ ミライチャレンジ 2048](#)」では、「噛むこと」による健康増進の普及を目標のひとつに掲げており、「噛むこと」と健康に関する研究と啓発活動を推進しています。また、キシリトールを用いた幼児期の歯の健康維持などの活動にも取り組んでいます。

さらには、愛川町へ災害発生時の二次災害による健康被害軽減対策のため、口腔の健康を守るツールとしてキシリトール配合のガムやタブレットのご提供など、物資提供等も含めた被災者支援に関しても実施してまいります。

## 6つのマテリアリティと目標



## ロッテ ミライ チャレンジ 2048

創業100周年までに、未来のために実現したいこと



心身の健康



持続可能な  
調達



サーキュラー  
エコノミー



脱炭素



社会とつながる



人財

### 2028年度目標

- 噛むことによる健康増進の普及に努め、咀嚼チェックガムによるチェック回数を年100万回以上に増やす

### 2038年度目標

- 噛むことによる健康増進が当たり前の社会を実現する
- 製品・サービスをウェルビーイングに貢献できるようアップデートさせる

### 2048年度目標

- ウェルビーイングに貢献する新たな製品、サービス、事業領域でしあわせな未来をつくる

## 参考資料 オーラルフレイルとは？

オーラルフレイルとは「お口のささいな衰え」のことを意味します。口腔機能のささいな衰えを放置したり、適切な対応を行わないままにしたりすると、栄養のバランスが崩れ、全身の衰えにつながると考えられており、“老化のはじまりを示す重要なサイン”として注目されております。

実際に、高齢者を対象に口腔機能をチェックし、継続的に調査をしたところ、オーラルフレイルの人は2年後の「身体的フレイル」、「サルコペニア」などの身体機能低下、そして4年後の「要介護認定」「死亡」のリスクが約2倍に高まるという結果※1が報告されております。

※1 出典：Tanaka et al. J Gerontol A Biol Sci Med Sci. 2018;73(12):1661-1667